

地域包括支援センター通信

★第1回

【地域活動報告会】

町内では、さまざまな地区の人々が、いろいろな手法を凝らして集い、活動する『地域活動』を行っています。このような地域での活動の調整・連絡役を担ってくれている方々に集まっていただき12月7日、ふれあいセンター会議室において『地域活動報告会』を開催しました。



◆この活動はいつから、どこで行われていますか。

◆活動が始まったきっかけを教えてください。

当日は13地区・19の方が参加し、活発な意見交換が行われました。各地区の代表者に自己紹介をしていただき、活動内容や活動を継続していくために工夫していること、課題、活動を行っている良かったことなどを発表しました。

参加者からは「他の地区の活動も見てみたい」「これから月に一度の報告会を継続的に実施してほしい」という意見が多く出ていました。そこで、今月から広報紙で地域活動の紹介をさせていただきます。

『愛の里』



◆平成11年10月から大杉駅の前の元食堂だった所を活用して毎月第3日曜日（午前10時〜午後2時頃まで）に行っています。



◆この活動はいつから、どこで行われていますか。

◆活動が始まったきっかけを教えてください。

2月19日（日）の晴れた日、大杉駅の前は、おいしい香りに誘われて次々に地域住民が集まってきました。入り口を開けると「いらっしゃい」と、長野藤子さん・徳弘秀子さん・木村豊子さんがおそろいのバンダナに、割烹着姿で出迎えてくれました。



◆ここでは毎月1回、その時季に採れた野菜を使った季節のお料理を楽しみながらおしゃべりをしています。食材は皆の畑からいただくことが多く、畑の食材と相談しながら毎回メニューを考えられています。本日のメニューは、ちらし寿司の菜の花のせ、野菜のてんぷらの盛り合わせ、肉団子、春菊の味噌汁、文旦のサラダ、文旦と栄養満点、彩りも鮮やかなお食事がテーブルに並びました。

◆活動が始まった

きっかけを教えてください。

◆活動が始まったきっかけを教えてください。

◆この活動の「うり」を教えてください。

◆この活動を続けていて嬉しかったことを教えてください。

◆参加してくださった皆さんに「おいしかった」「ありがとう」「このお料理が一番おいしい」と言ってもらえることがとても嬉しく、やりがいにもつながっています。月1回、皆さんの笑顔と元気な笑い声を聞いて私たちも元気をもらいます。これからもできるだけ長く活動を続けていきたいと思っています。



◆この活動を続けていて嬉しかったことを教えてください。

◆活動が始まった

◆この活動を続けていて嬉しかったことを教えてください。

地域包括支援センター班に『もの忘れ相談係』ができました！

もの忘れ相談係は、もの忘れや認知症が疑われる方などの相談を受け、ご自宅に相談係が訪問します。ご本人の様子の確認やご家族への助言などの支援を行い、ご自宅での自立生活のサポートを行います。



支援の対象者

ご自宅などで生活している40歳以上の方で、認知症が疑われる方、または認知症の方で医療サービス、介護サービスを受けていない方もしくは中断している方など。

どんな支援が行われるの？

もの忘れ相談係がご自宅を訪問し、ご本人やご家族の生活の様子や困っていることをお伺いします。認知症サポート医（医師）と、もの忘れ相談係が相談室で必要な支援やサービスを検討して支援につなげていきます（6カ月を目安に支援）。



こんな時はぜひ相談ください



認知症の症状がひどく、介護や対応に困っている…

もしかして認知症かも？心配だけど、どうしたらよいか分からない…

ぜひご相談ください！

地域包括支援センター
もの忘れ相談係

問い合わせ先 … 住民課地域包括支援センター班

平石・永吉